政治的經濟的に

野族國交調整に一歩を進めんさす ワ外二ケ所に總領事館を新設して

定假調印に關心陸軍當局の見解左

ても極めて良好なる効果を踏す

重大變革を招來

歴史に銃艶さるべき事件さいふべ

北郷接戦の經濟的影響は一層大きに、ボーツマス解析において小村に、ボーツマス解析において小村におたりイツテは強要に反野して覧にないで、ガーツマス解析において小村に、ボーツマス解析において小村に、ボーツマス解析において小村に

蘇聯勢力の總退却

-トが支那の期待な裏切り、支

て居るのみならず、今や滿無間紛 が歌を許乗したるものさ見なされ

蘇聯今後の

【多天電話】新設の北級管理局幹 北級管理局長 佐原 憲大 周副局長 平田驥一郎 總務處長 濱田 有一郎

極東政策

陸軍當局の見解

滿鐵派遣

の從業員は

不なく此の総数を完了も以て鑑賞日本の認りをの戦に於ける歴史能事代であるに鑑み鑑賞の運

提は同案を拠へて十一日 | 参集協議院定する所があつた、仄 | でには各々部署に載く事さなつて | 曾の決定を見たので、併 | 人事課長、佐藤交書課長その他が | つてハルビンに輸送され二十日ま | 最当において伊澤大長を始め大里 | 貴は十三日より臨時三ケ列車に依 ビンに管理局を設置する。 出郷派遣の粋部緩の | 夜大連より輸車、十二日朝来機局 | 聞する所によれば徐横の派遣従事 | 層る、なほ北畿接收さ

あすから臨時列車で出動

國を事實上承認

の形式にて調達した第一回支生しその艦上において一時間

北鐵協定調印の政治的意義

滿蘇國交の調整期待



**天阪富田陽宮堂** 

伯爵議員補缺

州廳

機能小を見るのでは、

滿全 警

察署長會議

一鐵接收準備に着手

從業員四千五百名待機

いふ空氣が相いなど、気はて質ひに

に傾いて るない

族にある路合う

橋本

(9)

派遣社員に ふ内命 

が、大連本武より派遣される約一、北郷総戦成立に伴び、夫々現地に た気持なし

の無味につききつたぬた。父の生 のがもう総霊の股盛ださ、いする をきかされたのちも、明子は父の生 に合電散が趣つて、再び父が回復 に合電散が趣つて、再び父が回復 なたに合電があってもないさ、流りにに でもないものでもないさ、流りにに では、そ

総お屋の指令により夫々現地に砂 は新京に落ち合つた上、ハルピン て出数するこさに決定した、一行

てゐるからでゆ言つて下ざいましてゐるからでゆ言つて下ざいます。







### 正式調印と同時に 協定効力發生 天々國内手續に着 大初巡視の武部関東局司政部長一に臨んだ同都長 派大巡視の 趣きである 武部司政部長談 見られない 電話機 北鐵管理局 电信が 接收に伴ひ左の沿線十

### 日午後三月一日午後三月日午後三月日午後三月日午後三月日午後三月日午後三月日午後三日子はこれるのち二十二日又手観を完了したるのち二十二日又手観を完了したるのちによります。 公衆通信機關は 電々で委任經濟

內閣審議

會

において着く準備をなしつゝあり、だし、すてに同社ハルビン管理局に変化經濟されることに 總局に引着がれるが、この内公表、認問題の解決して下にあつた通信機関に挙げて憲路・スて、今回の通信と北部総数で同時に従来北部の經營がち承認の内心を

北鐵管理局

幹部顔觸

能機能が収された。

に日満蘇間の 父關係を調整 廣田外相今後の工作 

日大連入港銀定)帝國祭職

にになってかれていた。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 のなることが関かさなつた、 のなることが関かさなつた、 のなることが関かさなつた、 のなることが関かさなつた、 のなることが関かさなつた、 のなることが関かさなつた、 のなることが関かさなつた、 のなることが関かさなつた、 のなることが関かさなつた、 のはを表する。 を表する。 のなることが関かさなった、 のはることが関かさなった、 のはることが関かさなった、 のはることが関かさなった、 の間に種を が、 を表する。 を表する。 では、 に対して、 の間に種を が、 にでいた。 では、 にでいた。 では、 にでいた。 でいた。 のなるはいふな像たさる所である。 「ちょう」 「おいては正に おってある。」 「おいては正に まるものである。」 「いちいては正に まるしのである。」 「いちいては正に まる。」 「いちい 「いちい 「いちい」 「いちい 「いちい」 「いちい 「いちい」 「いち

斯民社長)來 二日來社 京警祭署長)

人もないこさは、何か家

飛美商會冷凍機 アンモニア・コンプ

L

"

#

明子はちょつさ館の前で髪をな

不自然な出り取りが引込んで戦 今後の問題は接機・酸の平衡如 ナニフ里・電2-2283 トギフは・電2-2044 沙河 ロ・電4-9500

立つてあた。

乗りたくは ますの かなめ 日極栗雪 輸放新最と聯続の年多は機楽冷製的南當 個し出をトンセーバ百率効の実で品結の 極各各量無耐製の大組でに先上買得、5万秀優最中品差

化水

17 計
前
養商らかすで
動集のり計
着衛技は
会商當

の 五 のすましるを設相称でれ難を 大阪、故すまりあいて立相にめ難一を節念・ 同至で在自由自等び運特論勿はし外坂、付 っすで利便秘 と衛徒のり保第大り有會照鉤は際の費計例・ ・ 本まなると整を者 ・すませる政上書を看





0

春譜

(九)

際情の寒骸は見そイミないさ思ふです。船は出て

ードのメロデーが去って地路の機能には 感情観の高潮なビンで型り 職、影振外の際塊を呼んで連日群態を作に九日より三日間の象定の

社治院の日際戦役三十周年記念

る動物延期の希望あり、十二、 ・一學校を始め公私各團體かり切び

日

製んで なたのは 西部大連層供着で

團體見學に賑ふ

延期の

日露戰役配念展

國防

に

虚

基

は

に

一千圓献金

母堂の遺志をつぐ飯塚氏

本社を通じて献納

※日職院を通過したが、この世界 เ密和十年度金額級中職東局単領は

同署新築の

殿場空地)に魅り四月上

か計上され長年の宿望が今や連

止ぶり水漑地

現在の巴町から

沙河口署が一躍モダンに!

四月から工事開始

の警察廳含

王親仁彰宫松小

## 波靜かな旅順港口左海岸に 日清戦役を彩どる

北山川宮龍な親王、小楊宮彰に親王服殿下が総殿に御院在遊にもた事館が轍なくも宛明し日本の色彩を繋ならもめてゐるが、察地説殿の一角に遠く日高後衛時の遠眺、証も長くも日常後三十県年を選べて各地に今迷慮しれてゐた遺職や勇士の秘話が親に報道されて軍員

に供し御旅情な慰め奉った 又から診臓りをもこれを知らず、 さか後世への認念さして保 在の老虎尾半島であ なあたら風

王親久能宮川百北



:皇軍の:

からて後世へのがある。





ふた

旅順國婦は

浪

華

洋

行特

選

殺會式を舉行

発は十五日午前十時より木村理事 一 於て駆行する事になつた水先人 吉田支護 氏に係 る 複形響 一十五日午後二時期一小層 十五日海事審判 神五日海事審判

・爲替約定加入の・・・ ・五周年記念スタン

三千圓拐帶の 犯人逮捕さる

大連署の功により

東京市に潜伏中を



並衡吉川根に働いてゐた直武引 一九當時擴江省湊安縣牡丹江頭 一九當時擴江省湊安縣牡丹江頭 野響によって連捕されたは、十二 途に××

本社は十一日直

**勞動者** 

上署に

◆三ッ揃背廣服・・・四十圓より・・・◆事務に、スポーツに、散歩着として◆春向として明朗な茶・鼠の合服と

**合として理想的の**の合服と合オーバ

Ha

関防観念の普及等が関係の普及等が

四〇戦第上剛宏の情略甲原女子の で開査したさころ二月十三日新 に立ち寄る際勢あるから遊却手 能たのむさの依頼があつた 大連署では犯人の足取りについ て関査したさころ二月十三日新 成火箭線でざりついた鉄線のまだかさまらの機悪年前一時四十分頭市内螺旋町六十二番地手機動方に年齢三十四五能の黒折鶴の日本人らしき販押入り繋紙棚のものを突きつけて家人な電波、有り合せた現金一面四十段入の裏口な影談をのまり速走したが、大連器では他 磐城町に賊

品產土地內

有利號

に戒告

十日午後三時入港の歌語公司有利 中日午後三時入港の歌語公司有利 教育の大学の大学の後脚束 をおいて、先数日本館においてこの達 なが、先数日本館においてこの達 なが、先数日本館においてこの達

準頭に御成り、然二

ースに繋もの何合権

皇帝御訪日實況

全日満に

御發輦より御歸還ま

の日大連智感報、大連水上書、

よび神教経賞況政送連単頭より陛下調召脈柳栗艦

風の西北 曇時一時

カル放送

一日より機関御入港

御警衞準

大連諸機關で進捗

取締班 をさった 江の三千間探管犯人が大連署の功益論の教祭官を手古潜らせた牡丹 月九日午前七時半頭吉川がより

初手合せ 5今回日本庭職総会院

本春流行のト

背

服

供提

プ

コ

公學堂と共に明年度匆々着手

その名も期 平和小選

で六學級、校名は水源公學堂公學堂は泉町附近に新設され

日支デ杯戦

である さな難りたのでその能上野歌に打水である は連邦方な佐城中前記版館にて同じたことが はいまい こう一個な送り届けたこ

最近トランター個を送り届けたとり 最近トランター個を送り届けたとり 最近トランター個を送り届けたとり 最近トランター個を送り届けたとり なった。 立ちより





世界的専憲特許權を有す 國産 優良 可合とカルカ

河合樂器滿洲販賣所 大連市近江町四七 電二·五七三六番

奉天代理店 **溦洲圖書文具株式會社** 泰天千代田道四〇 爾五四九四 六三〇四季



服 品 揃

速 浪 町



を以ていよいよ十五日より

尚任室內裝飾家具の見積設



## n c

計は無料にて御相談に應じ

悪醉 もけしてしたみい。ナザない ١

四貫一面 四貫一面 同上一貫多 三面三十銭(船持込) 二個八十錢和送料书 四個四十銭(送料共) 圖八十錢(同上) 一圓二十錢 大連市伊勢町 店 竟 裸 生 栃木農場販賣所 光 へあれば!

學期休が参ります内地お歸りに林檎と支那素麵をお忘れな

林檎內地送

二一 園園 八三八 十 錠 錢

· []

特選新柄洋服生地 國 ドーミル・フレヤー

生地多數入荷 **大連大山通** (00 屋

英

頭者優待割引券

調者優待割引券

滿洲日

E

料士士 金麗日 十農封 錢高切

RKO特作日本版「コン 新興超特作時代劇「忠

グの

大日より 中朝後待階下料金で 与一 を等解放◆満洲日報 を等解放◆満洲日報

超特急

秀人の活

實戰部錄映書「日露戰役回顧卅年」

映樂館にて上映中愛讀者階上八十銭、

階下六十錢

日本教学 —— 1.10 6.10

コンドの復讐 10,30 8,15 8,15

毎日十一時開演三回興行 十一時間に入場の方は各等三十練削引 校竹ニュース 大胸離前守切腹 12-40 8-15 200 6-45 漫画トーキー 11-00 3-40 8-26 ークの直接 11-10 8-50 8-35 サービス 襲募集 本人来講

PRIVATE LIVES

うちおおこっ代に到田

百萬人の合唱 11.30 4.15

百萬

人の合唱

**熟賞は、手に、機能を持つてゐ** 

・・・・・・村田・田阪一騎討ち・・

・吉屋信子「女の友情」・・・・・

(152)

花 治

春のけはひ(三)

の暗くれがどこかで しきりごす 焼きにほふ名木のかほりが、歌者に乗なむせさせてくるし、瞬び驚

**巻園の前を、つゝさ抜けて、** た。 はし、その二十幅はごなうんげん を見えないのである。たゞ、扇だて来た客で主のほか一人の人がげた。 また祭のそばに渡むらさきの頭が、 また祭のそばに渡むらさきの頭が、 また祭のそばに渡むらさきの頭が、 また祭のそばに渡むらさきの頭が、 ないのである。たゞ、扇だい。 また祭のそばに渡むらさきの頭が、 を表してあって、 それらの在り

やかな女たちの笑ひ繋だの、様すって 一次 変数の臭へかう告げるこ、舞艇 を 持つてゆかれてしまつたやう

全市小學校兒童 太陽團を觀劇

軍事連鎖劇連日好評

こ に解釈の注目を歌いてなり、同疾を のだ[機]は何れる大能であるだけ 一般悟さな つた 吉屋信子 原作「女

概について一間着は見れないもの 動は原作者なめぐつて新典さ上映

し廻節のこ・詩のこ

てござらう。女人は製液のはすてふかなう」 「さいうて い、わしも共に、笛吹かう たど、怖い無がするの

乳人だの

どめ

良薬イ に

喘息

月報報覧がもうそこに立つてる 「おう、帯蓮院どのか」 のを除き続れ既歌する此 一日活東西撮影行 日活東西撮影行 日活東西撮影行 日満は先版東京本職歌上に於て企 歌談したが、その中「鳳窟忠大」 をはし月下」と「女の友情」 日満は先版東京本職歌上に於て企 歌談したが、その中「鳳窟忠大」 をはいって一進歩を減した山中顕雄 監管が競手する「死下左腕」と曰、ナールトーキー「養験」 をはいって一進歩を減した山中顕雄 監管が競手する「死下左腕」と曰、大作な目下執歌中 こよって一進歩を減した山中顕雄 監管が競手する「死下左腕」と曰 こまた千率プロから「難出したでは」と また千率プロから「難出したでは」と をは、こうない。とのより、これのです。 でよって一進歩を減した山中顕雄 監管が競手する「死下左腕」と回 である 

ので、恥しがつて、みなかくれた。 恋園かいぶかるさ、髪質は、 も 恋園がいぶかるさ、髪質は、 も 「何も、かくれいでもよいに」でもなかたらうて、電差のまれて、変数のまれごでもがたらうて、電数のまれごでもがであるれて、変数のまれごを選ばするを選出であた。 のて、心は、

さ、微笑しながら、黙覧や、侍

の友懐」の吹楽化概を使ってはこ

**回活館** 曉の

只今

名倉 y護9國祖 wa 上映中 製作品 七八三三五号番ドーコレ 立本四物切封書映回

◇平久吕多木+新管壁◇ 江川なほみ・由利健一 原作佐藤紅綠の名作

City Call Control of the Control of

粉。近

大=禮御員滿週先





話二二〇一六香



音報会解付總目録 無代進品

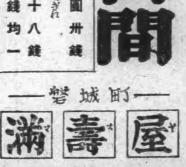
光光光息

値か十五枚の三錢切手が ます

分 (年中一尺)

十四日

十三日





局 級 御 的流行柄を蒐めて………地風柄行共に新趣を凝ら (麗姿シャー 召 -セル並に變撚糸應用絹セル 世

一月を比較でば左の如し

百十四回除で前月に比較する時は数数 之な前年同月に比較する時は数数 之な前年同月に比較する時は数数

才朱 福 奉 公 福 奉 公

現物取引改善に

人連取引所で試案作成

が 安か一級する

般貨物遞增し

二月の大連輸入微増す 土建材料は小康狀態

先や画幣建にあっては

(四)

絶讃をうけた大石橋の礦石

用滿礦業で積出準備中

助さして本月に入り需要に一種性 年和有の入荷塔を売した。その反。 年和有の入荷塔を売した。その反。

無一所に落ちて極端は下漱に下漱 えらた外、例年曾で見なかつた暖 が、からないの味が見なかった暖

月以降部内に於て各種資料を整合地市場における線内に設置された衝薬研究部は一定で海産物、紙、

輸聯商業研究部員

神戸日米一川 三州三分三 一八井八分三 一川 三州三八井八分三 一八井八分三 一八井八分三 一八井八分三

前年同期な比較すれば左の如も 「単位国△印滅)

生する一方大連市場を通じ奥地の作業を表現ない。 監要状況を調査しつゝあつたが、 監要状況を調査しからの計畫

地の 後地さの取引願保を調査せらむる 地の 後地さの取引願保を調査せらむる たが、今後は年三、四回宛各地 したが、今後は年三、四回宛各地 はある。北支方配の都勝然、金匹、粗和等の しちが、今後は年三、四回宛各地

曹達 灰 二至

口注文來る

三萬二千餘圓で所謂 題の六萬一千絵画

銀塊及爲替 (2011年) (20

市場電

本年三月

比前題

獨逸から硬焼マグ

一月の發送貨物

前年比四分强増加す **滞鐵埠頭事務所調査** 

年二月に比して七千テミュー」 「一年二月に比して七千テミュー」 百四十六種の激地、 上場の見込濃厚で

八絹取引を改善

会を表 比前私数 和は僧格の建動著るとく、はめに「世俗の建動者としている。 一次ではれてるる、元本人変を感んに行はれてるる、元本人の変がに使り、更に懸逆監判者に、人権をも感んに行はれてるる、元本人権のという。 額は六百六十二萬六千三

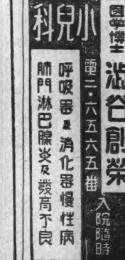
問題の激誌を行ふこと」なつた ルに同業者會を開催して具態的議 十二日午後四時半よりヤマトホテ

素

七四二三四七八四六四八八十一五六六

等の窓と旅が数三萬覧の輸入減を施建電であったが内地域、朝鮮域 め、かれてわが減シンジケー

假調印を



所要日敷の短きさを確による運送のより、前年二月に比し大差なきも、前年二月に比して相密敷製の繋送なみたのは同線が旅遊線を曲に比し運送のは同様が旅遊線を由に比し運送のできるが像がない。 説が「前年二月の登送題数さ比、棉花が僅かに減少してゐる、

電響者間にトラブルを表し或ひ は後腔の温々なる監察の不便踏か ちかこれが吹養の要望は各方確か ちが立道じて脚東線に資料を提供し で上書評可の見込み濃厚さ解へら 上場での変ですり、一方五 が吹養の要望は各方確か で上場でので、一方五 が上場でので、一方五 が大場でであったが映像が れるに至ったので、一方五 がより、一方五 がより、一方五

・三の昂點を示し全品目五十品中騰貴二十九品、低落十五品、中騰貴二十九品、低落十五品、「人工上騰穀物(三六・一)食料及雪好品(一・三)の四類に別し低下流。金物(四・七)建築材料(二・○)の場場にの・1ンの三類であるが観点(の・1ンの三類であるが観点(の・1ンの三類であるが観点(の・1ンの三類であるが、

國洲公債發行 二十日以前に

穀物類の奔騰で

新京卸物價指數の新記録

(全風建)にあつては前月比一〇 (四・三) 燃料(一・五) 紡織品 (四・三) 燃料(一・五) 紡織品

取引高減少す

二月の大連魚市場成績

滿洲電

商品取

況全司

大連帝

倫敦極東市場

中頭ロンドンに跳鞭戦で

延頻するの混亂を移じて監察二百年の急遽さなり引け立動を後場に 綿糸安値を呈す 米綿崩落の報を入れて

日本輸入品 本月分 前年同期 変上高 前年同期 変上高 前年同期 変上高 前年同期 変上高 一一六二 大二四一 六八八七 選擇 十一、七五四 △二三七 東質 ーー、八〇○△三二・○六○○ 東質 ーー・八○○△三二・○六○○ 東質 ーー・八○○△三二・○六○○

北鐵假調印で

木材の注文發せられ

英産業親寮團の諸

氏期待

の 今回の崩落は単に仕手関係のみ | 国八十七銭で前月に比し三千二百 | 内部の質り、強氣の肩透しさ投げ し様場骸蘂歩瓢を逃り監敷八千三 | 全部の質り、強氣の肩透しさ投げ し様場骸蘂歩瓢を逃り監敷八千三 | 全部の質り、強氣の肩透しさ投げ し様場骸蘂歩瓢を逃り監敷八千三 | 全部の質り、強氣の肩透しさ投げ し様場骸蘂歩瓢を逃り監敷八千三 | 全部の質り、強氣を告げたので、入荷減少を来 | 森原蕊を呈し自先き尚は二百圖大臺 | 二月中における大連中央館舎 | 東原蕊を呈し自先き尚は二百圖大臺 | 二月中における大連中央館舎 | 東原蕊を呈した。 てなく、政府筋の棉花政策に顕 中央卸市場 賣上高 二月は減少す

支那輸入品

▲満洲闕東州生産品 ・ 本満洲闕東州生産品 ・ 一、五五〇 ・ 会計一四六、三二五△八、 ・ 合計一四六、三二五△八、 ・ 大三二一五 ・ 大三二十二 ・ 大三二十二 ・ 大一二十二 ・ 大七三 040 101110

一【ロンドン十一日養國通】北巍議 画を観察して認識を新たにもた英 の意を表して活識を新たにもた英 の意を表してたの如く認った 北線が今日まで不安狀態を續け で表してたの如く認った 北線が今日まで不安状態を續け で表してたの如く認った のであるが これに對しては英國の會社もそ これに對しては英國の會社もそ これに對しては英國の會社もそ これに對しては英國の會社もそ これに對しては英國の會社もそ で不安にかたって大修理が加へら これに對しては英國の會社もそ で不ったことは一般の商取引は勿 のと信する

一日同業者が會合 満洲國の罪吸公債

はにそのやり方も野遊師に大き はにそのやり方も野遊師に大き

◆定期前場(單位後) 衛付高値 安値 大引 選期 195% 195% 195% 195% 選期 195% 195% 195% 195% 195% 195% 195% 195% 195% 195% 195% 195%

大蔵當局は樂觀

に支援ふべき分割繁一晩の約五百ってなり、正式調取さ同時に支援。 本べき二千三百萬國および十二日 大藏省では今回の滿洲関係一般八郎決定をすることになってゐるが 見て大した終雲はあるまいで樂師 七十萬風についても とてある 新京官

その基礎を固めに 洋服部 を新設組

史消費組合では新販賣網を搬大しつ

◆…日電戦等の際は「クロバトキンの豫定の選奨」さ日本人は冷笑したが使らは戦戦家の際は「クロバトキンの豫定の選奨」さ日本人は冷寒したが使らは戦戦をごの選奨をしたがで、一度も戦闘戦が出来す、日本も職和條約において、一度も戦闘戦が出来す、日本も職和條約において、

◆…今座北郷を放棄したのも彼ら の着へては「銀定の 選 !!」で の着へては「銀定の 選 !!」で

◆…日本人もことらあたりで有取 天にならず、ごつしり大地な踏 みしめて遠大の歌遊を極てれば

引際締る

上、海 (公司 法) は (本) は (本) は (本) は (本) は (本) が (本)

大連卸相場(計二) 大連卸相場(計二) 在 朝鮮物一七、製造物三、十二五、朝鮮物一七、製造物三、十二五、朝鮮物一七、製造物三、十二五、朝鮮物一七、製造物三、十二五、朝鮮物一七、製造物三、十二十五、明鮮物一七、製造物三、八十直建準

算小 兒 門科 腎臓・血壓を婦人内科師尖・肋膜を慢性諸病

**今井** 室二六〇五 五〇番院





○神戸屋株式店 本店 東標語 川西四 港 本店 東標語 川西四 港

■管口水電株は投資修件におり、「脚來性」は強さして

産としてとして

水電株

手形交換高(十二日) 金 17:102枚 \*\*ペス\*への3-1 金 17:102枚 \*\*ペス\*への3-1









大阪期米 | 10元 10元 | 10元 10元 | 10元 10元 | 10元 10元

神炎 産地信報は織筋同事、為 情市は質物準に强含み商財を辿り 常市は質物準に强含み商財を辿り 現物三十八銭、先物三十八銭二原 明本 綿糸崩落

東京期米

大連層宮町二電融で高せ二

寰物出合豐富



施だろう▲さころが苦流であり迷れてる取引所に何等に通 で上場されてる取引所に何等に通 を出してるるが▲第一。定期や延 を出してるが▲第一。定期や延 を出してるがる第一。定期や延 株式日報贈呈

皮切した運送船の軍艦横づけ

仁川出 張員

したので其の

会があつて 機能三空に 脱水を補助する

命令が出る事になって

而公OOOOO

三笠艦へ炭水補給

た馬糧輸送

村田社長

村井さん、一つ戦

上海を出机してロノ神

7井啓次郎氏 #

を記述に入機数しますと同地の三井支 を記述に対象では関連の命令で では秘密な事だが陸軍の命令で でで記録に行く命令か受けま した、そこで私は総数には神戸に した、そこで私は総数には神戸に

(刊日)



## **內田洋行** 大連·華天。

美濃部學

・ 強鬼力圏滿に國際注視の能たる歴 ・ する学佐美藤路根局民指揮下に逃 ・ する学佐美藤路根局民指揮下に逃 ・ する学佐美藤路根局民指揮下に逃 ・ する学佐美藤路根局民指揮下に逃 に関する質問(資本悌二十分開会

はて標業一切を停止し一般企業は 以て標業一切を停止し一般企業は の引揚げに先立つて教職員及び生

大下に推薦す

一 大鬼、歐田殿根職歌に前の警察を 縁返せば山本氏三度登號とて本職 郷に就き速かに根密の處置を執る 総変せば山本氏三度登號とて本職 総変せば山本氏三度登號とて本職 を表

**比痛烈に論ず** 

**支教上の影響に就いて** 

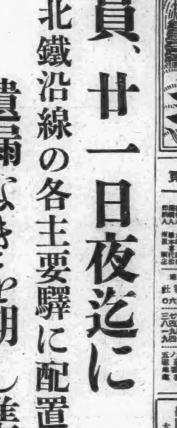
家の座右必然

地であり、地下の決場を 地の決場を負見報告施り可決確定 地の決場を負見報告施り可決確定 がの決場を負見報告施り可決確定

### 有四党な一緒上程し、委員長より 第(以上教育提出) 第(以上教育提出) 約







## 遺漏なきを期

**登** 北熊總戦前は十九日までに スルビン特電十二日 東部線 緑芬河、

時、札爾屯、馬々溪、安達、 神線、 満洲里、海拉爾、博 時に揺動をなす響であるが佐原への 中線、 満洲里、海拉爾、博 時に揺動をなす響であるが佐原への 駅、双城 第一条 観光子、名門、剛和 其

地域に からしたるのち十二日 動きしたが 準備に 遺漏なき を動し、なほ此等 準備に 遺漏なきを動し、なほ此等 が震中 できないます の接取 真郎 と 協議を なす 等 整 機 の

史能量率の管理を帰してゐる。速且つ圓滿に圓原注視の能た

野に向い アルピンに集

ハ千八百名に及ぶ

亦露人は歸國せ.

心御諮詢奏請

きのふの定例閣議

協定を承認

售從業員宿舍の

新京より標準軌道列車の運動を目 一日さ軌線の長る地監まで延長し 行く方波に據るものと観測をれる響で 北郷の松木に線のものは新に大釘を消込 地事が不可能な影響にあるため多 が本の取換へたほ子必要あり、

沿線警備充實

【ハルピン十二日養國通】 祝賀會を開催 調印で同時に

引渡しまでに四ケ月

# 北鐵協定假調印



**農田外相、ユレエニフ大使** 

戦の光菱除さしてハルビンに徐樹 ソ 則 目収 古司公干 引教の光菱除さしてハルビンに徐樹 一後を輸供なくされる機様である

【奉天十二日發國通】北鐵被收さ一共に直に着手 北鐵軌幅改變费 南部線動幅

エ夫な全線に配置すれば一日で強さ は大性本年七月砂帆正事に着手す は大性本年七月砂帆正事に着手す は大性本年七月砂帆正事に着手す は大性本年七月砂帆正事に着手す

コの枕木がこ 車の運行が可

となるが続三分の ずの標準軸幅への吹曳で、その歌をのさ見られてある が行はれるが、艦遊艇路の最も密が行はれるが、艦遊艇路の最も密が行はれるが、艦遊艇路の最も密

刊に着手せん

改造方法は右側或は左側

ボイントニ、五〇の

都長には機材さ云ふ天佐の方が層らそこに回航しました、雷時港獅

思って漫漏でも帰は下近づき症形

税職のそれは外国人であったので

る網果を担き所贈 がて経奇心を

十四日授業停止 10000、公中四、 

にありましたので私共は佐世保 管時艦隊の根據地が朝鮮のは口

◆見玉圓雄氏(大同セメント専務) 南軍司令官 旅順要塞初巡視

製完譯され しして開放さる **常熙乾隆版に典據す** ゆる は得がたき支那 本義を 0

說

すなきを保せいに於てかやだ。 け、操に対けた時内に果た及ぼ

更に北線の譲渡に依

通貨問題で

重要協議

米國政府當局

然・凄絶な論難

關東廳移轉

緊張の大連市會續會

一 もて午後四時十五分散館、十三日

反對陳情書 取次方依賴

特別委員會

でて手交南大将への取次方を依頼 に願する反射院標性を比談器を通 に願する反射院標性を比談器を通

更迭問題

た委員館も午後六時半間満に旅院いては市場が極力製造するこさに いては市場が極力製造するこさに

高面に態度され繁複年月日は昭和日五十名とも他のて継楽費も十五

後場市況(十二日)

大の強緩が

関係の使用機能を行っても の如き郷日質で作な重要も極んに

組織し支那各地を巡回開電宣傳教徒人さなり開資宣傳旅行順を登起人さなり開資宣傳旅行順を記しており、國資宣傳旅行順を

一工作さして國資提唱を有効では、市高會では先段委員が非日常委員が移転の犯憲商民の改選といかこれ等委員が多数市高會では先段委員の改選が

表面は排日取締を装ひ 精神から云のて常然

つてゐる、そこでこれによつてみ な銀行する智のでゐる、そこでこれによってみ な親子今後引續き數次に 町解な監は支那より歐洲向郵便辦 の急騰では何等難しい迷 ですっぱいだけだ、而し

『ワシントン十一日養風通』ル 総飯は十一日午後ホワイトハウ にモルゲンタウ財務政策、カー ウス司法是官、ハル國務経官・カー ウス司法是官、ハル國務経官・カー のののでは、カー では、アル國務経官・カー では、アル国務経官・カー では、アル国務経官・アル国務経官・アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務経済をは、アル国務をは、アートの国務をは、

大連市の市立溝人中等學校談響に大連市の市立溝人中等學校談響に大門市会議長から有馬護城の委員会に十二日午後二時から市役所繼載機率において際時から市役所繼載機率に対いて際

**砂郷な関策上止むな得ざ** 

を整幅する音が記されてゐる を整幅する音が記されてゐる

題長の概 な答願をなし、

表を求め、その いふなら秘密 されたがこの時声が委員は自要的に委員會廃上から返転とから返場。上原委員

關東軍關係の

(編) 単位級 (安値 大引 (1500 1500 (1500

の職家は一語しての職家と野地震の めいる影響は悲談的に協議す

午後四時十五分で は一宮委員の修正家の如く一學年 午後四時十五分市會院會後、野川午後四時十五分市會院會後、野川 時からの市会後を践することかし

は十二、三日附を以て正式を含む

にして昨年度に比較と輸出に於て 七千二百餘萬元、輸入に於て三億 四萬元の減少を売してゐるが、こ の数字は國民一般の難買力の若る の数字は國民一般の難買力の若る 長藤田攻大佐が陸軍大戦突教育に みるが、うち鵬東軍鵬傑は第一課。 をは下記津飛行戦兢戦官に 糖する 新低、又交通監督部島田航空兵中 新世、後低には下村定砲兵大佐が 本年度の貸下地域は南八條通よりで、期間は五月までと 下げは来る十五日より開始するこ 奉天土地貸下 來る十五日開始

依つて異るも大體一坪八側より十十二條測までド貸下料金は場所に 大豆 (操験 出來高 二百事 出來高 二百事 出來高 二百事 出來高 二百事

**五億二千餘萬元** 十億餘萬元

那の

貿易總額

十五億二千餘萬元

物(銀建) 生徒募集

また一 大 御上品にして御客席用に… みかと みや

ツふえた

10 1210

支筋質りに軟綱高総も質頼形大豆は材料區々に保合を辿り

テルに一液した、 情その後の日程

になの如くでも5

殿城鏡拜各官衙た諸既しヤマトホ財下来城中の武都引政部長は午後

武部々長日程

豆油軟調

**愛急見」||||** 

是当高高等等 先 最大型全面名 限

三条 受強 **益盟** 



へた。而してその正式授受が る。就中的確な自然的な影 された境の影響に就て、 貨使用を獎勵 他かに排日貨を書策

日本向郵便物を

米の銀政策より

日支親善が得策

王氏米國記者に語る

る窓譜に附すべきでない。

故意に運らす 北支郵政當局の不信

自分がそんな馬鹿なことないふという。
本側が選送料を経由所に支持ふる。
本側が選送料を経由所に支持ふる。
というでは、一番の場合では、一番のは信然で、日本から北支持ない。
というでは、一番のは信然で、日本から北支那へ

表由選送するのであるが運郵の 別の選送料な支持つても構用圏 系に減意があるならば値かばか がの選送料な支持ので、萬一支 料な支持ので、第一支

市長の財政計畫

依然增稅方針

關東局の新稅に附加

支那側常局の不誠意が問題になって、個然

歌 おける十年度集業家に続する説明 を は目なあいてぬる、市長の市会に は目なあいてぬる、市長の市会に

支那の處置 不合理

に関し藤原交通部野務司長は諸

神明、

彌生兩高女

明二七七、繁生二七二を戦谷し記述の結果に本日午後合榜都左の知戦の結果に本日午後合榜都左の知と配分整表があつた、従来の一校の結果に本日午後合榜都左の知り、従来の一校の結果に本日午後合榜都左の知り、 入學試驗合格者發表

北方の山峡に立龍つて頑張な抵抗北方の山峡に立龍つて頑張な抵抗

包閣政策は養々成功と十日セライ

編糸に安値狙ひの買物に弾所

初

時時時

方岡環を魅えてアルガリアへ速亡 した、其他多数の規略も概々部下 を説象し憲武王である 反將ク島脱出

【アテネ十二日養園通 クレテ島に他つて関戦の秘教援画な策しつ りあつたヴェニセロス氏は窓にカ

大(單位十段) 短東端鏡大 東新羅斯 三克皇皇 三克皇皇 受免 音楽温









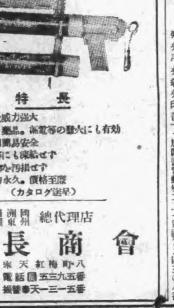
店



長

防火設備は

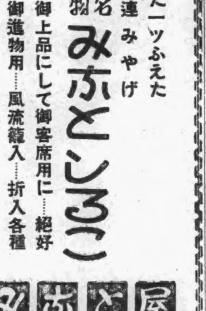
PATENT. 1946823:



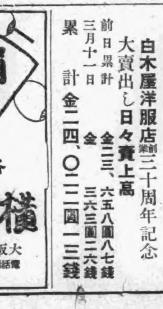














電燈料值下 對策協議 電燈公司總會

変護村青年の

な

圖

陸軍記念日

殉國の勇士慰靈祭も擧行

所原に 敷々の

代一時半散會となる。一般二百五十餘名出席盛會を極めた一般二百五十餘名出席盛會を極め

奉天會戰を偲ぶ

十日から各地で擧行

い、合格者は四月独領人しつあるが繁日航製公館は、繁日、に於て選択試職を行ふこ、出入を見脳客の来繁盛んさなりつ

出入な見旅客の來憾感んさなりつ

船賃引上げ

公主領に軍色展く

満人に威謝狀

王玉松氏外十

は本帝國陸軍の英歳な三唱も七

開原縣下で發見さる

天津營口間

に黄色の煙幕

驛新屋上待合室の窓硝子落下

天井の肋骨に大龜裂

**政路總局のサービス** ありさて公會に黙し昨今前載へ引 「牛莊螺」は今尚大連において入まり三元七角に引上げに施中で、 が、昨今流派皆無さなつたのでこより三元七角に引上げに施中で、 が、昨今流派皆無さなつたのでこより三元七角に引上げに施中で、 が、昨今流派皆無さなつたのでことが、昨今流派皆無さなつたのでことが、昨今流派皆無さなったのでことが、明の三等解散を昨年三元二年 二十日 項廻航 壯烈

総式の為め浄ロバアーの柱浄所等一瞥口輸公器にては今岐奉天裕智繁に響の一瞥口緘琰局は客年十一月 植 桂 幾 風

【報山】鞍山警察署では左の通り 機械院に於て本年第一回の 鞍山で施行

健康診斷 接客業者の

視察團續々と來滿

を の集みを かん 鶏冠山の催し

れて居らるゝ歴史的場面の大作に殿下さが新京縣誠にて握手遊げさ

なつてゐる。

を修験することに決定不日世工。 の陸路連絡を儲るべく自動車派路 の陸路連絡を儲るべく自動車派路

1 【星星15】三月十日跳流山でも三 中鮮、駅源、在艦撃人線を向ける宗 なる機を戦を撃行した 午前八時中順生演者中隊長指揮

明徳者道、和田亀太郎 の二氏に表彰版が郷奥された 明徳者道、和田亀太郎

鳳凰城も賑ふ

また同戦後従軍者さして左の四氏に三毛記念館より認念品が援助された。 南岡丈助、日高清一郎、鈴木織太郎、吉竹鶯二郎

慰靈祭舉行

・ 日露戦後において名巻の戦死を途 が皇國の人柱さなった勇士の英艦 が皇國の人柱さなった勇士の英艦 

りても日下願係者につき取調べ中での申分に一應の同情すべき転わいた。

「私達が何もわからなかつたので「私達が何もわからなかったのです。こんな契約をしたのです。こんな契約をしたのです。こんな契約をからなかったので

九日奉天響負に登見されたが、いに身を騰してゐたのな手配により

で選挙とうな時を関古なし午後ご ・ 一般戦況載話あり赴念施級、戦場 ・ 一般戦況載話あり赴念施級、戦場 ・ 一般戦況載話あり赴念施級、戦場

治、伊藤留吉、赤澤儀太郎、長龍念品受領書 佐藤平葉、中川總

辰已會出版

9

蓄膿症で肥厚性鼻炎

自宅で手輕に出來る

治し方ご其方法

合格者

念行し懸念修理に立ったが、屋上 たする一方三田組、保織區員等が 屋上

(日曜水)

奉天高女入學

ふ野もい契約で抱へられ続いてる 酸の時前借金百五十個八ヶ年でい

憤慨し自廢

小當な契約に

支部 念日に發會式

作「後也職」

支那浙江省青波の出来ごと。

合計加算器-編より示能起付 要用 家三 百 即 十 盤 富 差 者 資 料 第102数 法 場

大連服實所建創商店街心鄉傳通用

機圏を張ひ夫の大事なものないやで堪ちず、響へたあげく いやで堪ちず、響へたあげく

るのがいやて

井佐次氏の研究に成れる高粱底事 料佐次氏の研究に成れる高粱底事

|の令機さ経験した、新郎五十六、|

一世な襲聴させた支那の元教育 まる風質大変資事性は耐氏が今尚 ほ排鞭に至らざる為め南京地方波 に排しの評価一千萬元に上る では耐氏の評価一千萬元に上る

書いた数字の合計が 即座に鉛筆の頭へ!

> 自 働 的 に 散種の取引別合計と明細小計 精算の際は現金高を合計し

なくてならぬ利器

ナショナル 金銭登録器 株式會社 東京本店 京橋區銀座三丁目二番地

礼視 仙春 横濱 四四 名古景 京都 大阪 静戸 周山 巌鳥 雅美大連 京城 奉天

市京政府では組合事業の大器版 大器を組合經濟の學者を総論する大 を認合経濟の學者を総論する大 では組合事業代

【14版列 陸戦武は日常田常地においては午前十時在住官院小學生おいては午前十時在住官院小學生分數場法低の要繁で萬歳な三唱、分數場法低の要素で萬歳な三唱、計

傳票販賣制度調查 奉天の商店經營合理化 人食、市民食、城内居留民食、小社に集合の在郷軍人分食、園協婦

「金天」 

「金文」 

「金文」 

「本文」 

「本文) 

「本文」 

「本文」 

「本文」 

「本文」 

「本文) 

于氏無料診療 透迎會 十一日午後二時祭署長山前祭長、大內新 に於て市民の慰安會を 幅バンドを招待して小 ないような。 がある。 の慰安會を の慰安會を の慰安會を

新學年に兒童の

換を行ふ

奉天の各小學校で

る事さなり一般滅人に恋父の如くる事さなり一般滅人に恋父の如く

に電流と無料治療を施すべく市務 警職や基子常氏は一般貧民の健康 の健康

地 人

| 全計||金州・西海線県協会に本年度者

山海關と壺蘆島

▲伊澤道維氏(同局 次長)同夜▲平田曠一郎氏(線路總局附)同

成夫氏(文教部總務司長) 登氏(同電氣課長)同上

(第一軍管員司令

中學校ご

二割引

▲三毛一夫中將(○○除司令官) 同日午前十時五十分養治預子へ 松下海軍中將(央海軍工廠長) 同日撫順往復 「公家海軍中將(佐世保海軍工廠長) 同日北原往はさにて來率 長)同日北行はさにて來率

でするい。 ・ できない。 ・ で

HINA KOEID 名日

薬新等高きな用作副

してから私はモウ二度のお ップな切ってこちらに参り

だらうさ思ひます

なん、一日々とではもありまなん、一日々とではた。 そして今の

住の地たるべき此の満洲に

が大和撫子の様々

て、この生活に慣れるやうに

突破する心臓の無力を動ひと

に居てこちらの生活狀態を開

うすこと樂ならのさ想像して

月のかえ

町の家族渡浦の

ざ本館に辛いさお思ひになる

一度めの春を迎

今では不足も不滿もない

岩手小隊・佐藤すみ子さん

さらいへの嫌しさな親び得まさらいへの嫌しさな親び得ま

ン武装移民の妻とたち

◆第四に…皆さまの親密なこ

の日を架くために自らの身を振て 機のお姿を目のあたりみ、又今日

して、私は共態級にむせぶのみで物性となられた方々の事なお聞き

百聞一見に

如かず

『屯聚除本部』

容職地にして八分、二分の

水を割つてお使ひ下さい

生のまゝ用ひるより

が最もよく範囲力を示す

栗野きなさん

さ新日本村建設にお願きなさる情

の強いものが成功者であり勝利者。中の一切は力賛べてす、結局機築

配偶者さして、この水野館に参り 安の窓が勝ずのです、だが、世の邦農珍民の先編者たる自衛移民の 得るか、ごうか、省みて内心に不

のであらうさいふ事を沁々さそ、如何なる観難も突破し得

の神の新祭や、第二

故郷

を離れて幾百里

現地 に来り見ればランプ 一現地 に来り見ればランプ を踏んだ私は、そこに懸骸や、空 が しょした しょした

ちらに参りまして選先きに感じ

も亦尊い鑑でなければ

宮城小隊

赤間すゑさん

◆第一に…整然で

したその関

◆第二に…は如何に國家的觀念が旺盛であるかさいふをご願りみす。自己の一身なご願りみずます。自己の一身なご願りみず、権てが犠牲的精神の登場に

日

ME

來滿・第一に感じたこと四つ

宮城小隊にて

喜久子さん

のが悪んで頂けたならば私

た限りはよい満洲の新天地開拓者

世の中の

切は

善を

3

11

ルあくび!は血液の中に膨素が不 として来た時に出るものです。つ をリ本常より大きく呼吸して多く の膨素を減るための作用なのです。 の膨素を減るための作用なのです。

たの、お母だのさ俗様に遊び難つ あつた事なざら聞ひ、たゞたゞ 高 感動に避り、自づさ験の無くなる 感動に避り、自づさ験の無くなる

あくびの原因

院校巻さしての整理な心に称くさ 時代の様など態ひやられ、新天地

い、演えないこそだったと思ばれなりしてるたこさが本盤に順瞬のな

作品には耐く、手首の細かな状態で表に重みるがペメッチする。

學

期

0

必

はまても物理學の必要を認め がも音樂の復讐さいふものな でもれてぬない。音樂藝術は はいて論じられてぬるのだ。

女の

## 花江戦住木東を貼たる十 ては百雄十宗族、韓夏三百

本砂原館ノ州製造町集町本 P語の表野に /新ニフボン 事に動かさつて嫌やしく です、さ同時に、その様々もの間志のない情報があったの

半くしこの無空の概から前ら かに響き渡つてるますが、佛 かに響き渡つてるますが、佛 かに響き渡つてるますが、佛 心得ない辛苦で競多

の順野に勇ましく。関小後 つて無い教訓ではないでとう たちの一部一句、又その行間 感想は果してざんなものでせ 以下は彼女等が残ちらた たちの脚を去来す

の亦なも見逃すここが出来まれて政権のあるる場合であるといれた内臓がなくないおきノ武

の第五の配偶者に選ばれて後 てドッさ押寄せて來た百餘名 軽な迎へやうさしてゐます。 せん。昨年の更から秋にかけ

"武裝移民の妻

豕 留守宅に來て

に求愛 心弱き兄の悩み

心臓い兄の私です。又相手の男に てゐるのか、その心種な脚き得い てゐるのか、その心種な脚き得い マデな歌然拒続しようて決心はしますではり半弾で、しかも女人の話によりません。私も妹に對するその男の い私は、この総職を如何にして切ったのですが、男は楷勝らす私の留 です。私も先頃歌島から歌つて歌しその行為ななどる力もない

男は銀日のやうに私の留学窓に押して済まねさいふ心から、そんな事 島に瀧在中の私に打ちわけて来ま (市内・懺める兄より) になりました。思ひ縁つて妹は宵 何率さるべき道な御数源下さい。 やうになりました。妹は兄に對し、成は途に最後のものまで要求する 妹に對し来愛したり 頼もしからぬ男



意思に磨ぜて製みのなり状態にあるからでも

あるピアノ奏者は、

の良い厳かな邀壊す

るのは今さら

同僚に賴み出入を断れ

は相手の人の殿女性を相當に尊に思へます。正當な男性さらて をするさいふ脈から見て、決しなするさいふ脈からそのやうな要求! ち、先づ味さしこしてし、 その私に願しての自覚を持つやち、先づ妹さんにくれくくも、 同僚に頼んで、その歴史には今うに教へるさゝもに、わなたの

たこさがない。 を開いて、 を関いて、 を関いて、 を関いて、 を対して、 をがして、 をがし、 を

一州ロピアノ

るやうな男性は縮紙しても向き 長 て用ひる場合には、 で用いる場合には、 に御依頼なさるこさが大切です後一切出入りして見れないやう 婦人會だより

は結局そのまりのゴン

強んだ深かな手首さ

開催の鎌定であります 金では来る二十日三月の例像な大連新聯議會 大連婦人間情報 三臺連結一室電車 ち、これが樂器に献なながいトーンな田での変響で人間能ない。

る人は人の

作し掛けた画

東宝は一つで一人の事業で必然の東は、監鑑は三個に分れてゐるが りのものな其まとに (自動ピアノ) でかけるます

三分の割が通常さいふこさに

その利益は麒麟の弧い樹椿の他に監視をなら得るさ云ふのである。

から楽庫、中央から下車さ云ふ事も利用も得るものださ云ふ、黄後 になってゐる。

ン で構足すべきで の核 巧な ピアノラ

か解い斑形にも重い黄粋を振さき、個国の噂にるべく液流 果實

て子供や劇人に果締の のはザイタミン配標 果物はサツバリモ ることない時でも 

を開催しているには、一般を表現であった。 ありますが、これに用ひる泉織さりつぶすか無常さして興ふるので

御

納

苗大省事

製

造

機械をの治

E 飲料 0 千 知識

て蜥製の大なるものがあるさせら

Cが皆含まれて居りますから最も に含んで居り、ビタミンもA・B・ ・ 職果婦は概じて居なやうに思ばれます。

殿人や衝動の難い子供に果物をて層ります。

實用新案

理想的煮沸釜

て、年中同一品質の生果な何時で は本口のが趣味治療上にも、彩底 に於ても不便さする處であります に於ても不便さする處であります 概人の食物さ



表効果は得られるさ であるピアトの原理(博士の原理)な無へてゐるピアトの原理(博士の原理)の表述(「中士の原理」(「中士の原理」(「中士の原理」(「中士の原理」(「中世世」)の権巧ならざるピールの権巧ならざるピールを表示している。

兼常清 定されてゐる。 佐博士の たより混ぜたウインク等に於たなり混ぜたウインク等に於たない。

一音樂界の迷信

を

痛感するのである。

後に私は音樂の機販者さして

て左右さるべきものではない事を ものは決して業器如何などによつ

進までも正しい指導的権利を以て まつて彼らに世を感はす事なく何

大宴會より、満洲一大北京

大北平料理、

理

簡單一

機めて近代美が

それなど思ひ合してタッチさいふものだ」さいふ事ないはれたが、

もので同じ樂器でも る出し得ない程に ピアノ演奏家は、 も二度さ同じい それぞれに異 別ななタッチ

に切望して筆な順く次葉である。

その表示の音色を を表すの音色を を表すの音色を を表する。 が記述の に於て 心

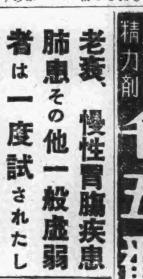
ヴュウ

老赛 胃脇疾患

心臟病

的に恢復せしめる強力なる作用を發揮す 肺患を 不品は病原を直接刺衝し且つ全身細胞を の他 度試された 般虛弱 L

理研でダイタミンの研究に従事すころが最近離北の泉安吉君さいと



W. T. V. V. 眩暈 私は二三年前から、胃臓を害し 平 や頭痛で、非常に困って をりましたところ、先輪





テ平均ニ派炊ナス斯界最新ノ被…………… (機米ノ※汽蚕ノ鉄點テ一掃シ飲煮物ノ磨ノ 研 究

・ 外にまる。 ・ 大きなのでは、 ・ 大きなのでは、 ・ 大きなが、 ・ 大きなが

話 張 田 三 五 〇 二 番東京市域東區金戸町七丁目拾六番地東京市域東區大島町六丁目六一八番地

17

■權威大家。新銳學究執筆。至十九年門內容見本於 **転檢定規格合格品** 阪府立工業獎勵館 械講義錄 自立 無器・京七三〇八三番 工人社を終られ様権技能となる機能 高權威 晶 TRADE MARK VANCO 古 CIRCLE STAR 高 肺 江蘇株式會社大連出張所 MISS NIPPON 臟衰 . チ 鉛 弱 患

船 禁 被 被

本新邦界

一最

唯 0

で、これは製生時代、山田流響曲で、大家だつた今井敷緑先生を訪れた事があった。その時、恰度新入門の弟子で十謎ばかりの会様が先生がが、その会様が最近の第一総が、その会様が最近の第一総が、その会様が最近の第一総

ポ 者

消炎强心內服劑

者に用いて極めて卓拔なる効果を發揮すたる心臓の衰弱又は慢性痼疾の心臓病患なる心臓の衰弱又は慢性痼疾の心臓病患なる心臓病患の高熱性患者及凡ての症狀より來受痢等の高熱性患者及凡での症狀より來

各地著名薬店に販賣す 安東縣市場通八丁 **三** 器店

滿洲國發賣元 高 橋盛 大堂製藥部

黎州所 日本大阪

瓶の服用で全癒 胃腸病が 全身 服用後五六日にして、今まで苦

1 十耳鳴りも全く止み、以前はつが、一和服み終つた今は、一 である度へ新別に行つても何となく、日々疾快に楽してゐます

れば喜んでお見せ歌します で、何方様でも御水所下る

ノ二限の

棋戰[其五]

機構·音管·分離受信·体裁·萬點!

り、変失になって歌んでを になってから、問題はよく

注外「庭療のかもと」を頂く様 主人も時々問題を害しますが

期等の類似の名を治:

りまして一二年目で全度の子供が生れましたが、私が旺城中は

「影響わかもと」をねだる様にでは子供からムマー(といふて

といふ表彰の通知を頂きました を内一関で書んでをります。 私は長女が生れてから瞳が敷 私は長女が生れてから瞳が敷 を関かるもと」が一帯瞳に適 が一帯を順かと近いたが

をります。その気に残害と非常

毎回からさず「旋動わかると」 乳は充分ありますが、子供には

し、死亡児童婦職員と同様、総務性疾患による死亡が最も多く五九七名を異

若葉(わかもと)は廿五日分一 を経に過ぎぬ厳値で、日本東京市 を経に過ぎぬ厳値で、日本東京市 を経に過ぎぬ厳値で、日本東京市

私の虚弱は壯健に

子供は優良見として表彰

群馬縣 長

井

畳 子

名、女一一五三名、諸二一四大名、統領別がに数する千分率は男

他の脳からも、代後は一層質用さ

在籍見童中死亡したもの男九九三

死にが影校児童に配てみますと

な機能をみます。だから若素(わかが増し、短等態が減じ、整葉は一切が増し、短等態が減じ、整葉はで感動が減じ、整葉はで感動が減じ、整葉は

ゲン等があしく含まれてゐるの

者は遊に多くなつてをります。

これら死亡見童の死因をみます

夫の胃腸が丈夫に

東六回ぶちゃん事を含が高島東六回ぶちゃん事を含然高島東六回ぶちゃん事を含が高島

お願で生れた子供は遊者でお

することは至敬でありました。 ある若素(わかもと)といよ派生 ある若素(わかもと)といよ派生 に活力を乗へてその機能を観をに

職人以に就する千分率は男五・一 二五名、合訛六九名で、これが在

一五名、合計大九名で、これが在 して死亡したものは男四四名、女 して死亡したものは男四四名、女

やヴィタミン其他の有効成分を懸惑らしめる酵母酵素 といふもの

この調査は在職中の職員に就て

女五・四七となります。

を記すとし、総性解析の一大名 職族の名四名の職がとなり、総核性解析のとなり、総核性解析の名四名の職がとなり、総核性解析の一大名。 一般ので、動に発売した。総核性解析の一大名。 を記すとし、急性解析の一大名。 は、解析の一大名。 は、解析のでは、解析を表示。 を記するべきものは合計コニュートを表示。 が、動に、という。 を記するで、動に、という。 を記するが、という。 を記するで、動に、という。 を記するで、動に、という。 を記するで、動に、という。 を記するで、動に、という。 を記するで、動に、という。 を記するで、動に、という。 を記するで、動に、という。 を記するで、ものは合計。 で、動に、という。 を記するで、ものは合計。 で、動に、という。 を記するで、ものは合計。 で、動に、という。 を記するで、ものは合い。 で、動に、という。 をいう。 で、動に、という。 をいう。 で、動に、という。 をいう。 で、動に、という。 をいう。 で、動に、という。 をいう。 で、ものは、会に、という。 で、ものは、会に、という。 で、ものは、会に、という。 で、ものは、会に、という。 で、ものは、会に、という。 で、ものは、会に、という。 で、ものは、会に、という。 で、ものは、という。 で、ものは、という。 で、ものは、という。 で、ものは、という。 で、ものは、という。 で、ものは、という。 で、ものは、という。 で、ものもの。 で、ものもの。 で、ものものもの。 で、ものものもの。 で、ものもの。 で、ものものもの。 で、ものもの。 で、もの。 を、もの。 を、。 を、もの。 を、

を ととの出来ね気養素できり酸、が だれるインシュリンなどの作用も だがいた にはつて、 一定を取用すれば が果があり、また 総数網番に 続く ことの出来ね気養素できり酸、 が

十数種の消化酵素や、食物素と呼効くので野親であるばかりでなく

胃障害なき

腸カタルで下痢

度が、胃臓病の在水の観法とい 度が、胃臓癌を能とは重暫の如き アルカリ悪を乗へて腱を中和し、 アルカリ悪を乗へて腱を中和し、 で動に減酸症とは種腹酸を果へて

付著せしめ、関本に自然的の原復 の原復部にセメントを塗つた様に の原復部にセメントを塗つた様に

員職教

東京市體育課の調査に表れた小學

校職員、兒童の死亡統計に鑑みて

見覧

の栄養増進法

別による對症療法の範疇に属するを待つといふ風な、すべて化態薬

幸促

ものばかりでした。從つて葉を服

用してゐるうちは良いが、止める

人年中の東京市小学校殿員及び見東京市権育課の調査した。昭和

行はれたものであつて、重症の 職等の手機により減少するため 職等の手機により減少するため

東大学を受験が、関村監察

病源から之を恢復

の何めて多く、症状の複雑多様で

胃腸病の種類

感であります。

### 家庭醫學 到症療法によらぬ

## 新しい胃腸療法

細胞に活力を與へる物質 慢性衰弱に陷った胃腸の組織

在来の仏學東鴨ではみられぬ深く の人がこれを駆めば青 確の 分泌をれた可能を概至に立確す作形は 例へば胃酸過多症をかが変したがでありますだけに 弱い動きが認められてをります。 **★に胃の犬はフェフパ者學選生な名有のアショ 化歩道の學病腸胃、し**出取を液胃でし通を管 A たしまし歩を歌貢なき大

おが愛見の経典の死亡者は殺す 一覧人をりますが、そのうち胃臓 性臓が関西で死亡するものは級二 一覧人で、百人中十七人の割合を 十蔵人で、百人中十七人の割合を

撤に向ひます。 細胞が徐々に新 自然に正常に復 て多過ぎた戦が

学を占めるに至るであらうと意像が、 ルヘギすと恐らく全死亡者數の通いへますと恐らく全死亡者數の通い

-1(育殿)なら イタミンBとDを含有してゐま 者素(わかもと)は、繋じいず 者素(わかもと)は、繋じいず 一生不治の様に思はれてるま すから、かしる一種の緊
養際器

だといふ事が明かにされました だといふ事が明かにされました ちらの一つでも全く 脚辺すると ちらの一つでも全く 脚辺すると ちらの一つでも全く 脚辺すると ダイメミンBとDの映画のため によると之は一種の業養臓器で 近四里の開業機サブー ウスキー、ジャンドレ

歌ばにあき足らなかつた一般では 他来の が、この者素(わかもと)の 紅き おきないとって、様に顕哲といへま

かを試異されて、とった。 かを試異されて、とった。 かをは、要するに
かの為に
がが来
のあるのは、要するに
かの為に
がが果
ののあるのは、
でするに
のの為に
がが果
のの為に
がが果 適當な便通が

の激烈したのは常仏解素の分泌が、増し現地の機能も自ら后められ、

を完全に整理する標になるからで、からる作用を呼向上、細胞の形質賦活作用と呼んであます。 原形質賦活作用と呼んであます。



710

リアニ店薬品粧化草類



進 呈 券 他の参切技の上部券拾五銭を共に左配 の何にかへ得送附の方にラクトーゲン 見本場・他・育見の本を整上げます 御姓名

乾卯商店大連支店 英端 煉 乳 公 司 英 瑞 煉 乳 公 司

回本

戸 河 丹 丹 沔 丹

受験生必携讀問於

1

握することができますと爽快になり気も落ち

用。幽 神經痛

從來のアスピリンご異り卓越せるシオノ獨特の化學的純良品にして 解熱、鎭痛作用を有し、絶對に醋酸 就ての冊子

臭なく極めて優秀なる國産品なり。

子御申越次第無代進量ンの選び方と取扱ひ方に

全國各薬店にあり 五錠入

二〇錠入 價格極めて低量 五十錢

店商義野塩齡 町修道區東市阪大

品

優

國産

その色艶!そ のお手入れ 花王シャン の氣品! プ

ーでの日頃

が窺はれます

XXXXXXXXXXXXXXX

花王シャンブーは少量で 地肌の汚れまできれいに 地肌の汚れまできれいに

御泊所朝陽寺に偲びまつる

御事蹟

弾雨の中の御英姿

**確懲天地を揃うた日町の役の一種態の筋の出来るのも、三十**の事態に眺め、勢心地のう

手紙と小包を市民の指

月中頃から大連の餌々な高く、コペルト色の ではい、中ズボン軽やかに が着け、中ズボン軽やかに が着け、中ズボンを

「ないないなり、コバルト色の標といっている。 ましては十名、 房のついたトルコ

り、近く運信局より事集を表があ

小包は二十銭さ

日

媒介役の運送店主は捕はれ

犯人、風の如く消

學、大連聖話等係では観響の魔医 て通りかゝつた智澄並低がこの現 に激入の彩練わりこの障き込みな | 折も折り恵兵隊方面の巡視な終へ

死んだど思うた妹は

若しやシ

ベリヤおつま?

二十餘年生き別れの妹の嬉しい便りに

ルビンを訪ねる老人

·武器密輸

モダ

愛嬌者公設メツセンヂヤー

四月からデ

横ツチョかぶりの

トルコ帽朗かに

威張りな春

奉迎費內譯 日發國通》滿洲國皇帝

が問題の漸測風皇帝陛下奉理費五十二日の院内閣議で正式決定、十十二日の院内閣議で正式決定、十

滿鐵中等學校 年前十時出記うちる鬼で内地に歌 ・ 一年前十時出記うちる鬼で内地に歌 ・ 一年前十時二十分大連縣に弾着、同 ・ 年前十時二十分大連縣に弾着、同 ・ 年前十時二十分大連縣に弾着、同 ・ 年前十時出記うちる鬼で内地に歌

授業料値上げ

後に数定するこさゝなり、関東局を実料一ケ月二国五十銭な三國五十 識可申請中であったが、十二日 臓可指令があったので 新學期から

のため十二日門司養師 孫文十年祭

大禮堂に擧行

石田侍從武官

十五日旅順へ

長勇會巡拜班

**△開東局警務 △沙河口署高等** 

珍勝賞 しいろ

**州内のある特定の場所に穴蔵に工業界の御服々** れが珍融質の準備。

老槻男暗殺未

戎

の無づかない機能も伝統あるもの無づかない機能も保証あるも

兄の密航 隻に分乘した苦力 五十人、押へらる 乱 一級な付け、十三日大連水上署へ引 なほ底順管内各沿岸においては 足の種苦力の上端な最重取練り 上端を防止する事さなつな 會

がない。 を表現したな を表現した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表し

今十三日限

三

十周年

戦役

術美

着 刺繍 杉山春堂氏作品其の他數十點 大田春堂氏作品其の他數十點 大家作品數百點 大家作品數百點 大家作品數百點 刺繍が山春堂氏作品其の他數十點 種營目業

銀器・金屏風・掛軸箱・掛軸附層表数彫刻硝子・ 絨氈・螺鈿・漆器・陶磁器・陶磁器

好適品揃

店貨百の品術美 堂 寶 美 番八七六三・二話電

雀 は大連咀

海軍人・學生用に最適率にして優美賞用向、陸 整率にして優美賞用向、陸

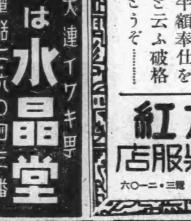


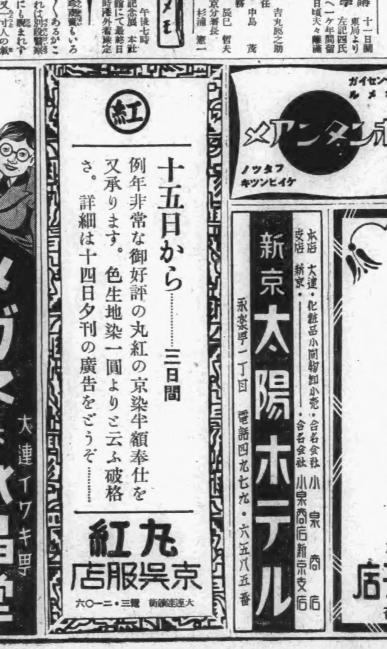


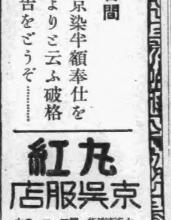












卒業ご入學の御祝には!! デコレーションケーキを

大連市兒玉町三 八 業 所



からも別途に計上す関する て 計 一般追加豫算 郎

と切離し

滿

洲

或

皇帝奉

の歳出各省別

記書田輸長より祝田 乗覧 一致した、よって 歌

積み込んだ

ひとり心中 同姓同名の

介脆役目を振つたに三廉は右の如く全然

山本少尉の その監に多大の疑問を知らては 一日午後登橋したが、十二日正午 歌作歌楽の新京城内湖京橋方地へ 歌で歌楽の新京城内湖京橋方地へ

1大連着 縣通一五二番地 前用時計

遺骨凱旋

職いて領事に属出てたが重なに嚥下と自然してゐるのなぞ

ガイセンセ

毎日のお食膳に

盛が現れ、一名は見張し二名は 兵工艦鉱跡王貴へ こ方に三人組織 李天大東部三城分所十二畝無戦元
【孝天電話】十二日午後七時ごろ 不意の御來客に S. S.

マヨネーズ

奉天に脊强盗

又も三人組

通酬増進の際に上る事さなつた、 マ日本及び支那に向け靴製並びに マリンデット・クーリッデ號に便楽し 一行は約二週間日本に徹在し次い キュービー

極東親察職一行は愈々十七日無常を順十四大應業の代表者より成る。米國十四大應業の代表者より成る 解院で旅襲してゐたが十一日死去 十七日出發 一本日は味風

教館にて聞か

**畔極東視察團** 

、棒物を狙ふ脳のやうに、機かきは、

こてるた。風のやうな率

っせやがったが、

達へたり、どうにも気が出たりして間

幾等勉強しても頭がボ

武験 に直面して くて軽い様に脳漿が酒 頭腦が明晰になり、

白い程物質えがよくな

り、根氣が續くので

頭が良なり記憶力を増す

ンヤリして物量えが悪

腦髓は、海綿がタツブ 強健で頭腦明晰の人の れて居るのであって、

水を含んで居る様に

に就いても平氣である が、試験勉強や劇務に

試験が戦や脚務

ぶつ、無確なするさ評しませい

音旅へその四

り乍ら、裾音はひつしに除さつと が音の鰻餓は、やたらに空を切

試験勉强で惱む人が

清之介書

(22)

顔に、黒髪の髪のほつれがかち

白刄は陽を別れ返して、強な

腦髓の榮養を

良し脳漿を殖すと

ふり振つた。

呼吸器贏弱の人 勢倦 怠の人

一張精の目的

養完養命酒本錦天龍館

館央中

本籍出題

東大阪一七八八八香

電話~

四三歲四六告

九九部一五番

満洲東 毎月六、十六、廿六日 維基愛前九時、清津養後五時 解及流海 主 奥爾姓にジャバン 解及流海 主 奥爾姓にジャバン 東京 1000年 1000年



信州伊那の谷名産

製法日米專賣特許

根無薄弱の人質勝衰弱の人類血冷込みの人を強を衰弱の人を強を衰弱の人

翻

○全國有名の藥店、

つださいって、この娘さしりだってえだが、この娘さしりだってえだが、この娘さしりだって、

「定、さてこの御馳走なご を手前の際の血なべ口 生態なのみ込

惱みの試験勉强が

面白く徹夜も平氣となる めて飲んで磨りますと、腰の工合

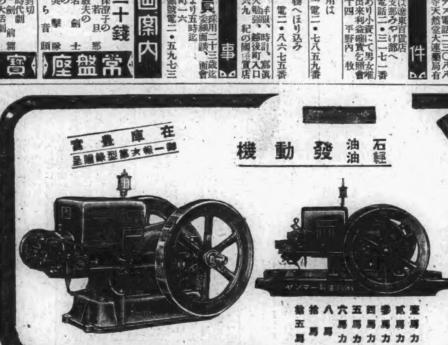
西本館出張所へ発て直

等の帯部高よりもうま 通四丁目六三酰地套配 ら、東京市総合軍上 他西にして別客美味上

川なほか書演録 後 簡制 大劍代切 編 特活 副 双手 制前 紙柄 念 篇 ッ三十銭

名数者で十一 館樂映傳館





り五時追談、三大の

大評判であるから、

のはないと感心し

誰も一度お試しあれ、

體験を威得せられま

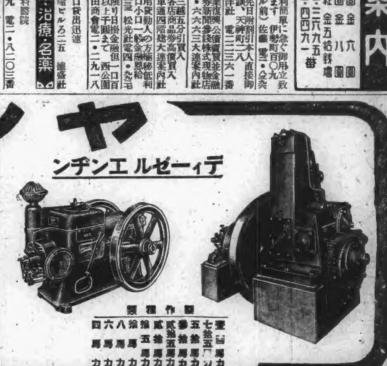
物と云はれ、

是程よい

頭をよくすを飲

女家 高級完實

物 社式 龖 哈爾德一 遊街一班 京八 易 遊 四本天平代 田 通二 山岡發動機工作所 昌 司 四二五三



債券

小切来

料粧化代近の力魅と美

妹品

色

一松浦汽船連出帜

有故? と申しますと 種々の條件を完全に、備へて居り ます、それにツケ方が從來の白粉 とちがひ洗韻後、コールドクリー とちがひ洗韻後、コールドクリー とちがひ洗韻後、コールドクリー とちがひ洗韻後、コールドクリー とちがひ洗韻後、コールドクリー とちがひ洗韻後、コールドクリー とちがひ洗韻後、コールドクリー とちがひれせず、お別を、荒さ で仕上げるのでございます。 とません、ではこれで本日の とません。ではこれで本日の

この三つの美しさを創ることでございます。 化粧料を選ぶべきか、私は先づ おは先づ そして見あかぬ自然美帯空のごとく澄んだ明朗美 阪大・京東 館本ルーメ島風社會式株 元賣發穗本日

邸 川崎汽船献出帆

美容講座

てあります

20 大連汽船出帆

一 阿波共同汽船 山縣速。話園2次元-23001番 有 仁川行(共同丸 一工房十三日 一工房市,一工房十三日 一工房市,一工房十三日 一工房市,一工房十三日 一个後七時日 一个後七時日 一个後七時日 一个後七時日 一个後七時日 一个後七時日 一一一日十二日 一个後七時日 一一日十二日 一一日十二日 一一日十二日 一一日十二日 一一日十二日 一一日十二日 三 日清汽船献出帆 朝鮮 野船 出版 日本 野船

日

衰弱の人の脳髄は、シ ナビタ林檎の汁が乏し 脳神経が衰弱し

失なひ、恫忌れをする 徳力思考力を地進し、 西氣が出て記 の優勝成功も劣敗落伍

目方がある、それで 脳漿が充實して 脳髄の目方によるか 耐へられない人々がっ

み、頭の工合がハッキ 朝晩少しづい 快となるので 滋養強壯劑の養命酒を と、真底から活氣が出 氣分が爽 愛飲する

**至急** 日本向大 女中

TANGOOOH RA